

**坂出市**  
**障がい者福祉計画および障がい福祉計画**  
**事業所アンケート調査**  
**結果報告書**

**令和5年8月**  
**坂出市**



## 目次

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1. サービスの提供状況と今後の意向	2
2. 受け入れ（事業提供）の状況	4
3. 利用者が望むサービスについて	9
4. 現在の職員の充足具合について	15
5. 人材の確保について	16
6. 地域住民との交流	17
7. 災害時の対策・対応について	18
8. 感染症対策について	20
9. サービスの現状や課題	21
10. 障がい福祉施策における重点課題について	22
11. その他・自由意見	22

# I 調査概要

## 1. 調査目的

本調査は、「坂出市障がい者福祉計画（中間見直し版）および第7期障がい福祉計画」の策定にあたり、各法人の今後の障がい福祉サービス・地域生活支援事業に関する意向をお伺いし、参考とさせていただくために実施するものです。

## 2. 調査設計

(1) 実施期間：令和5年6月27日～7月14日

(2) 調査方法：郵送による配布・回収

(3) 配布・回収状況

配布数	有効回収数	有効回答率
24	14	58.3%

## 3. 報告書の見方

(1) 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回る場合があります。

(2) 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

## Ⅱ 調査結果

### 1. サービスの提供状況と今後の意向

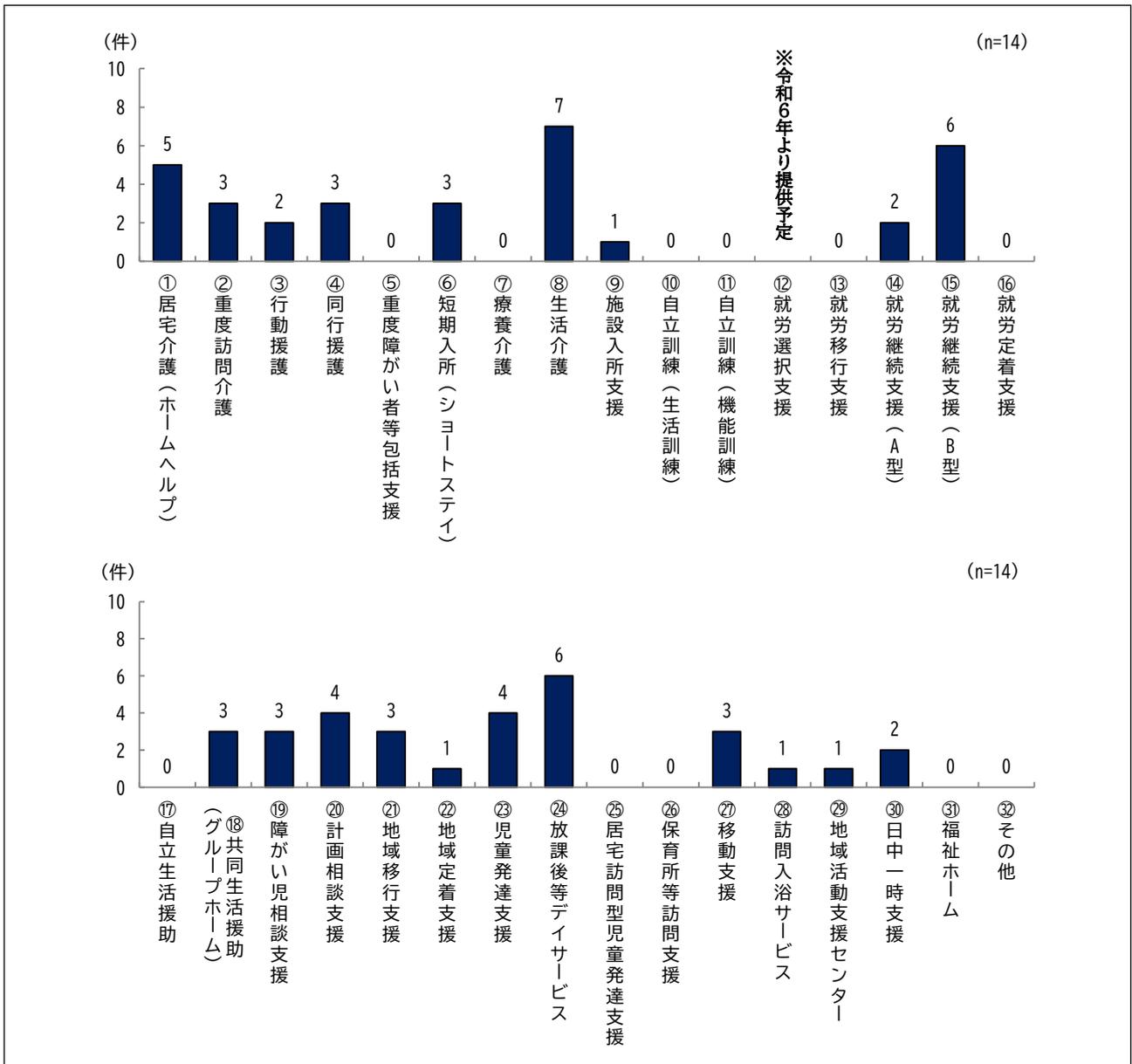
問1 次のサービスについて、貴法人による坂出市内での①提供状況、②今後の意向について、①②のそれぞれお答えください。(あてはまるものすべてに○)

#### ①現在の提供状況（令和5年6月現在）

##### 【全体の傾向】

提供しているサービスは、「⑧生活介護」（7件）が最も多く、次いで「⑮就労継続支援（B型）」および「⑭放課後等デイサービス」（6件）、「①居宅介護（ホームヘルプ）」（5件）と続いています。

図表 1 ①提供しているサービス（全体／複数回答）

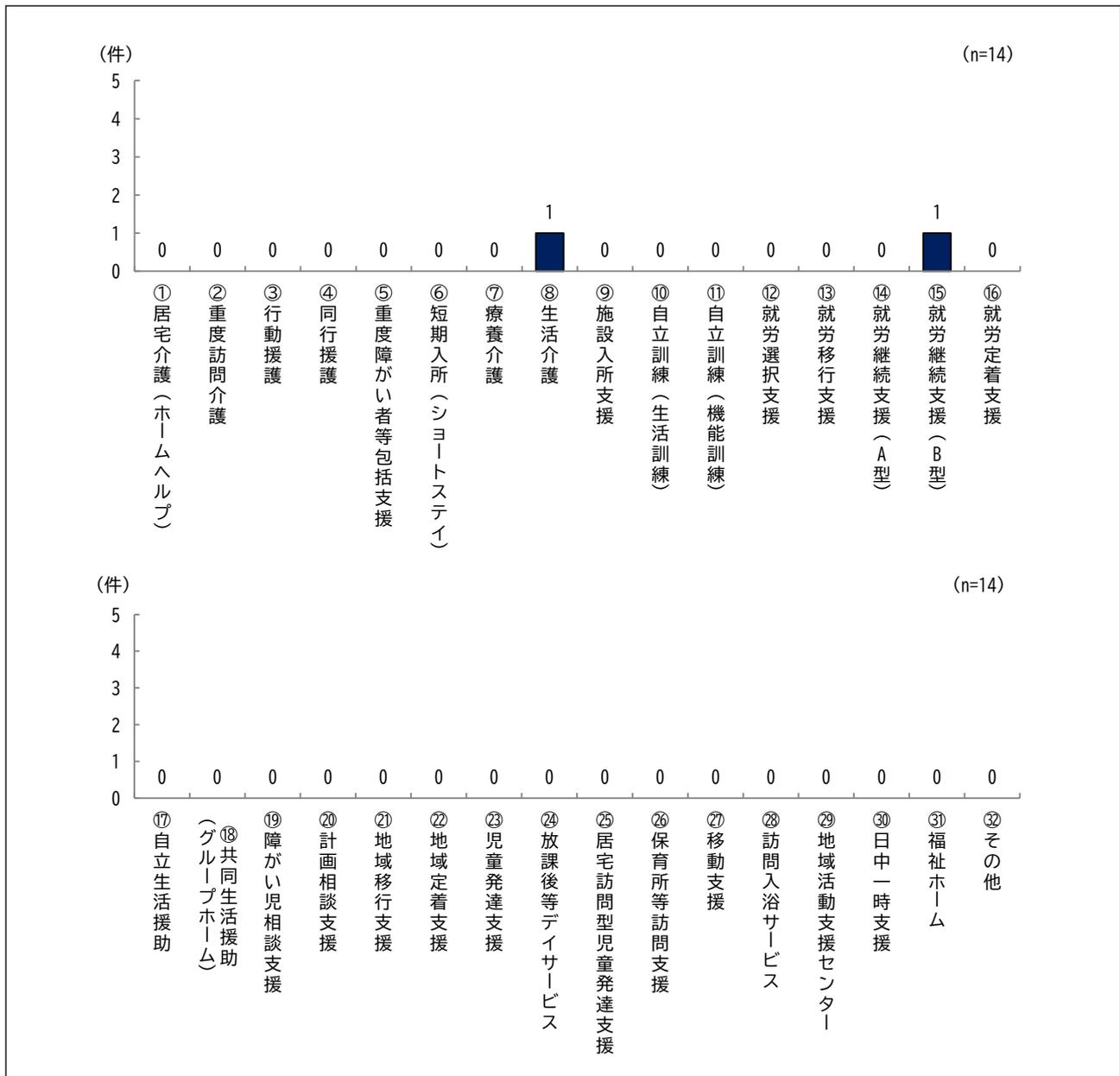


## ②今後の意向について

### 【全体の傾向】

今後、拡大または新たに実施したいサービスは、「⑧生活介護」および「⑮就労継続支援（B型）」がそれぞれ1件となっています。

図表 2 ②拡大または新たに実施したいサービス（全体／複数回答）



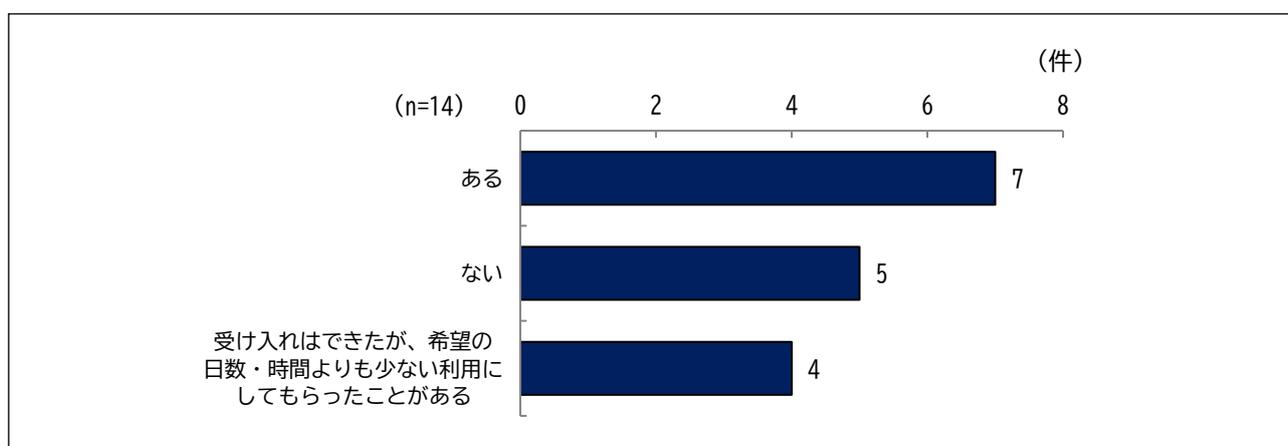
## 2. 受け入れ（事業提供）の状況

問2 貴法人では、この1年間で、利用者からの依頼に対して、受け入れ（事業提供）できなかったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

### 【全体の傾向】

受け入れ（事業提供）できなかった経験の有無については、「ある」が7件、「ない」は5件となっています。また、「受け入れはできたが、希望の日数・時間よりも少ない利用にしてもらったことがある」は4件となっています。

図表 3 受け入れができなかったことがあるか（全体／複数回答）



※問2で「ある」と回答した方

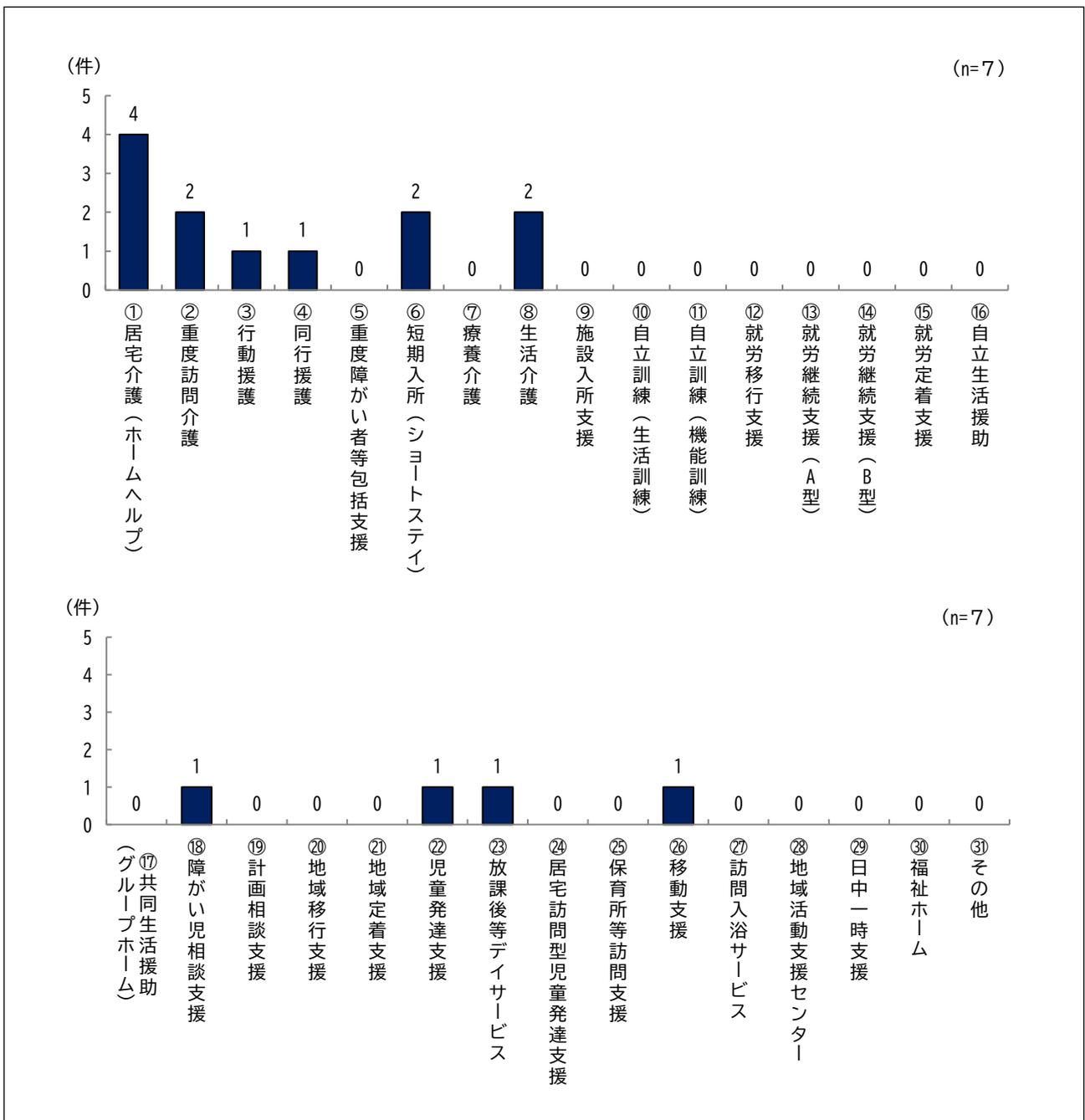
問3 受け入れ（事業提供）できなかった事業は何ですか。また、その理由を選択肢から選び、回答欄にご記入ください。

### <受け入れ（事業提供）できなかった事業>

#### 【全体の傾向】

受け入れ（事業提供）できなかった事業は、「①居宅介護（ホームヘルプ）」（4件）が最も多く、次いで「②重度訪問介護」「⑥短期入所（ショートステイ）」「⑧生活介護」（2件）と続いています。

図表 4 受け入れ（事業提供）できなかった事業（全体／複数回答）

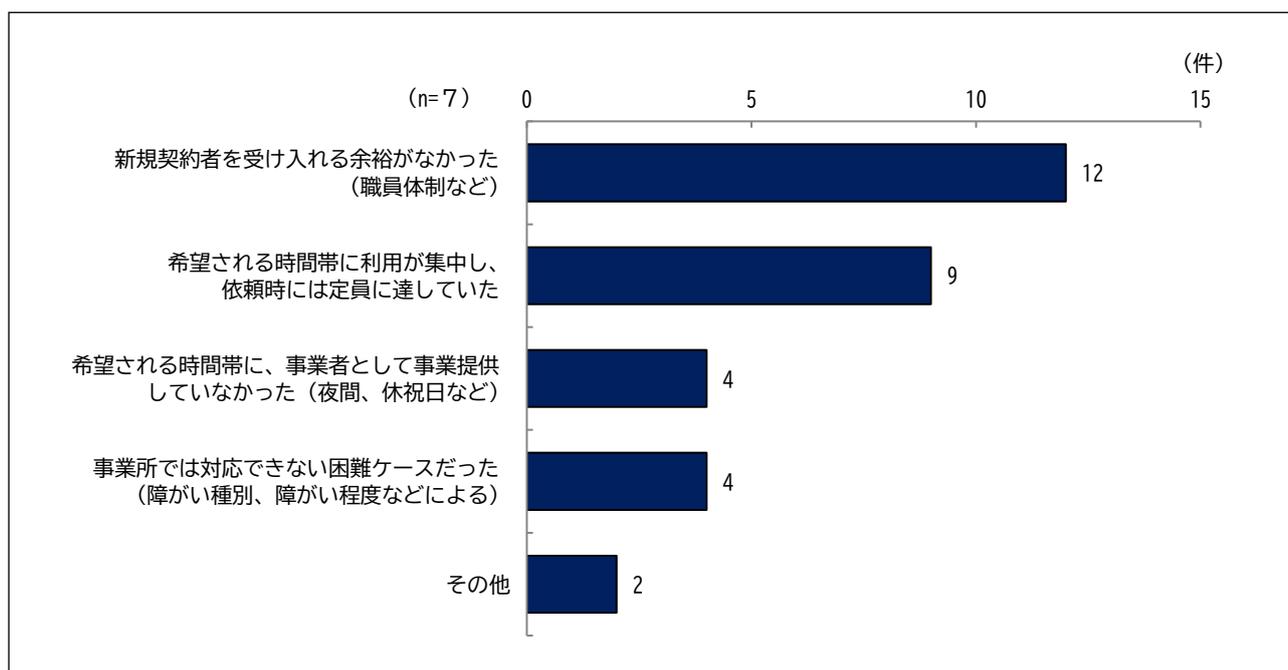


## <受け入れ（事業提供）できなかった理由>

### 【全体の傾向】

受け入れ（事業提供）ができなかった理由として、「新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）」（12件）が最も多く、次いで「希望される時間帯に利用が集中し、依頼時には定員に達していた」（9件）、「希望される時間帯に、事業者として事業提供していなかった（夜間、休祝日など）」および「事業所では対応できない困難ケースだった（障がい種別、障がい程度などによる）」（4件）と続いています。

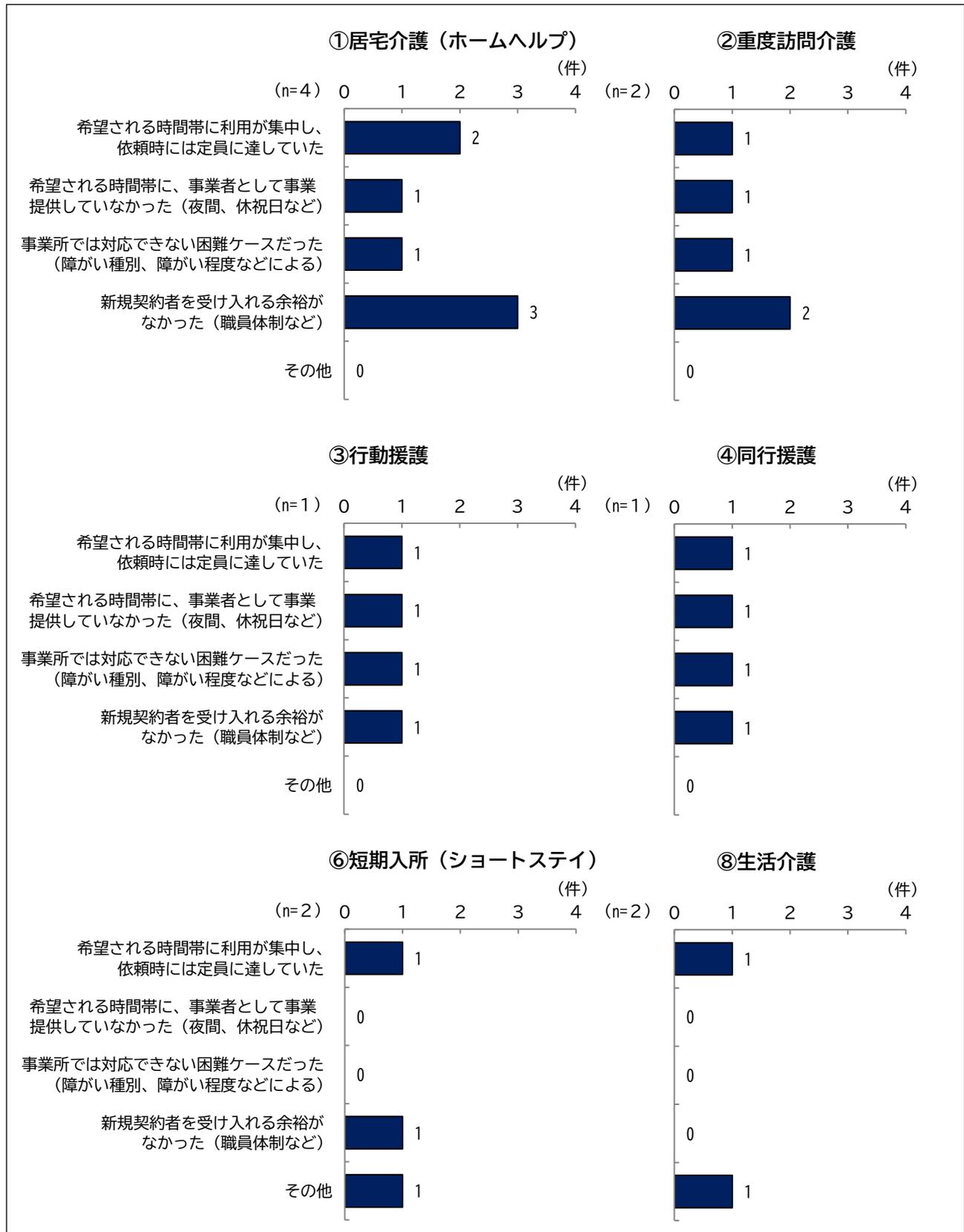
図表 5 受け入れ（事業提供）できなかった理由（全体／複数回答）

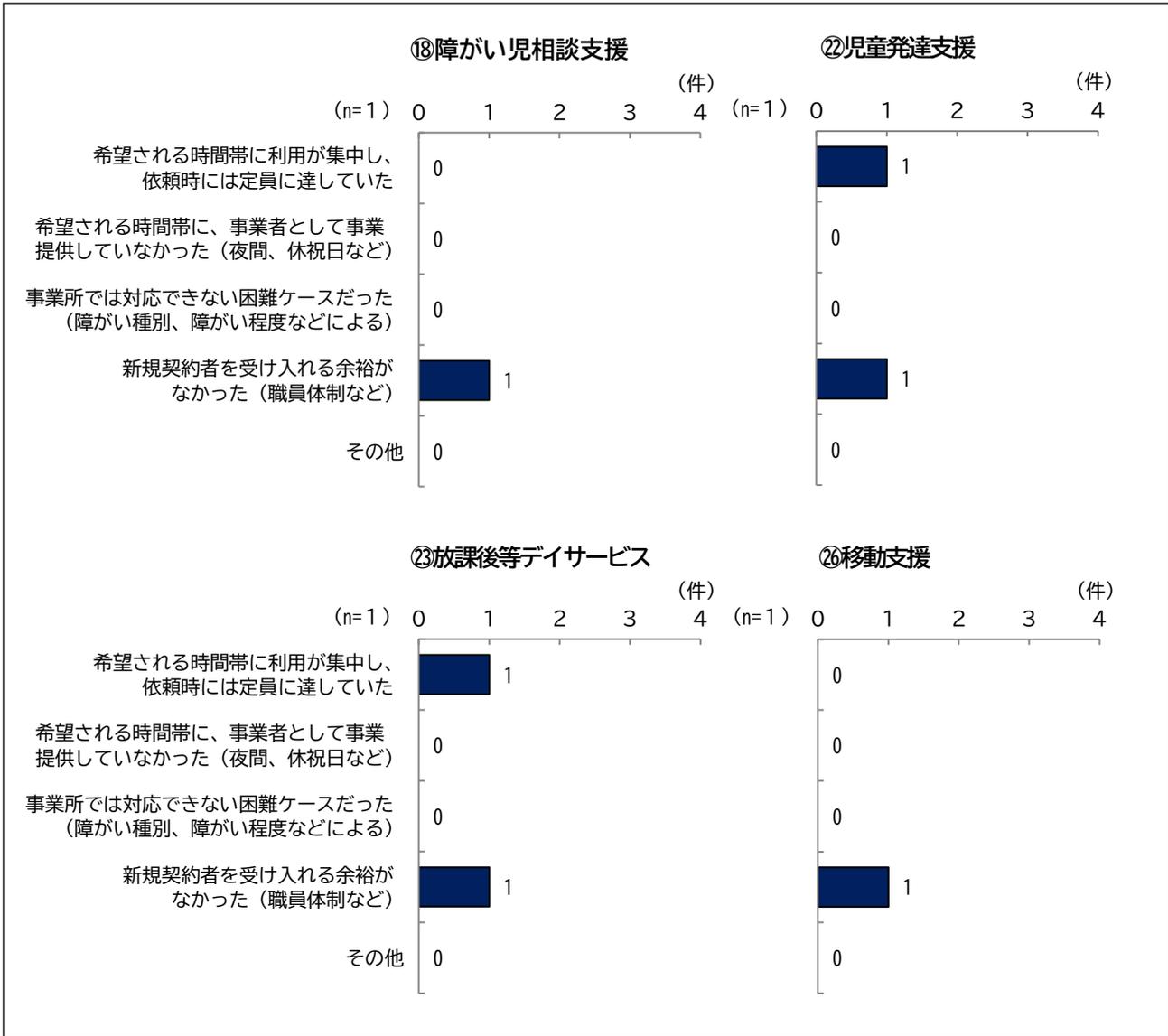


【サービス別】※回答のあったサービスのみ掲載

理由をサービス別にみると、最も件数が多い、①居宅介護（ホームヘルプ）では、「新規契約者を受け入れる余裕がなかった（職員体制など）」という理由が多くなっています。

図表 6 受け入れ（事業提供）が出来なかった理由（サービス別／複数回答）





### 3. 利用者が望むサービスについて

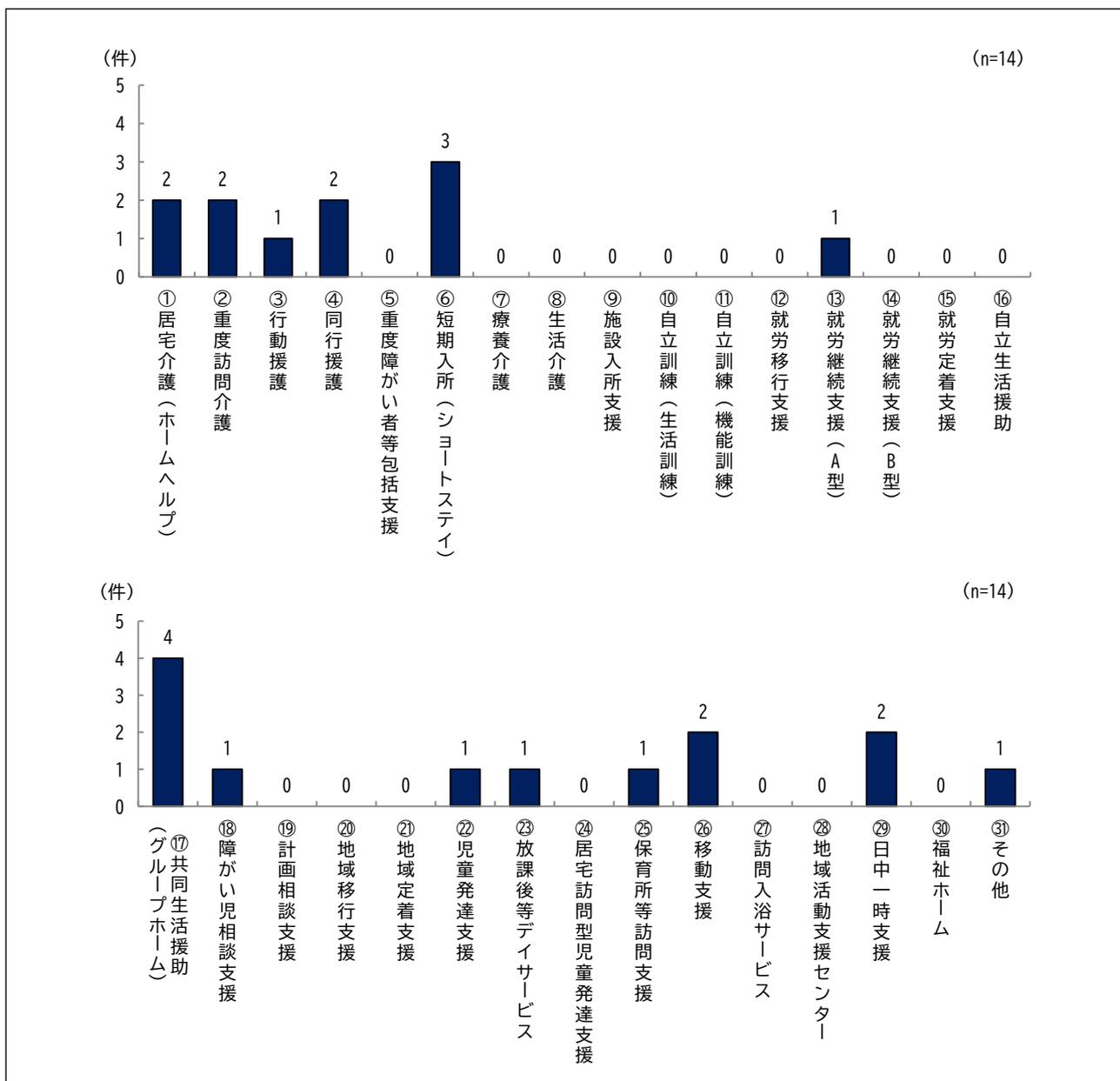
問4 次のサービスについて、①利用者からはどのようなサービスを望む声が多いですか。また、②利用者から望む声は多いが不足していると感じられるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

#### ①利用者から望む声が多いサービス

##### 【全体の傾向】

利用者から望む声が多いサービスは、「⑩共同生活援助（グループホーム）」（4件）が最も多く、次いで「⑥短期入所（ショートステイ）」（3件）と続いています。

図表 7 ①利用者から望む声が多いサービス（全体／複数回答）

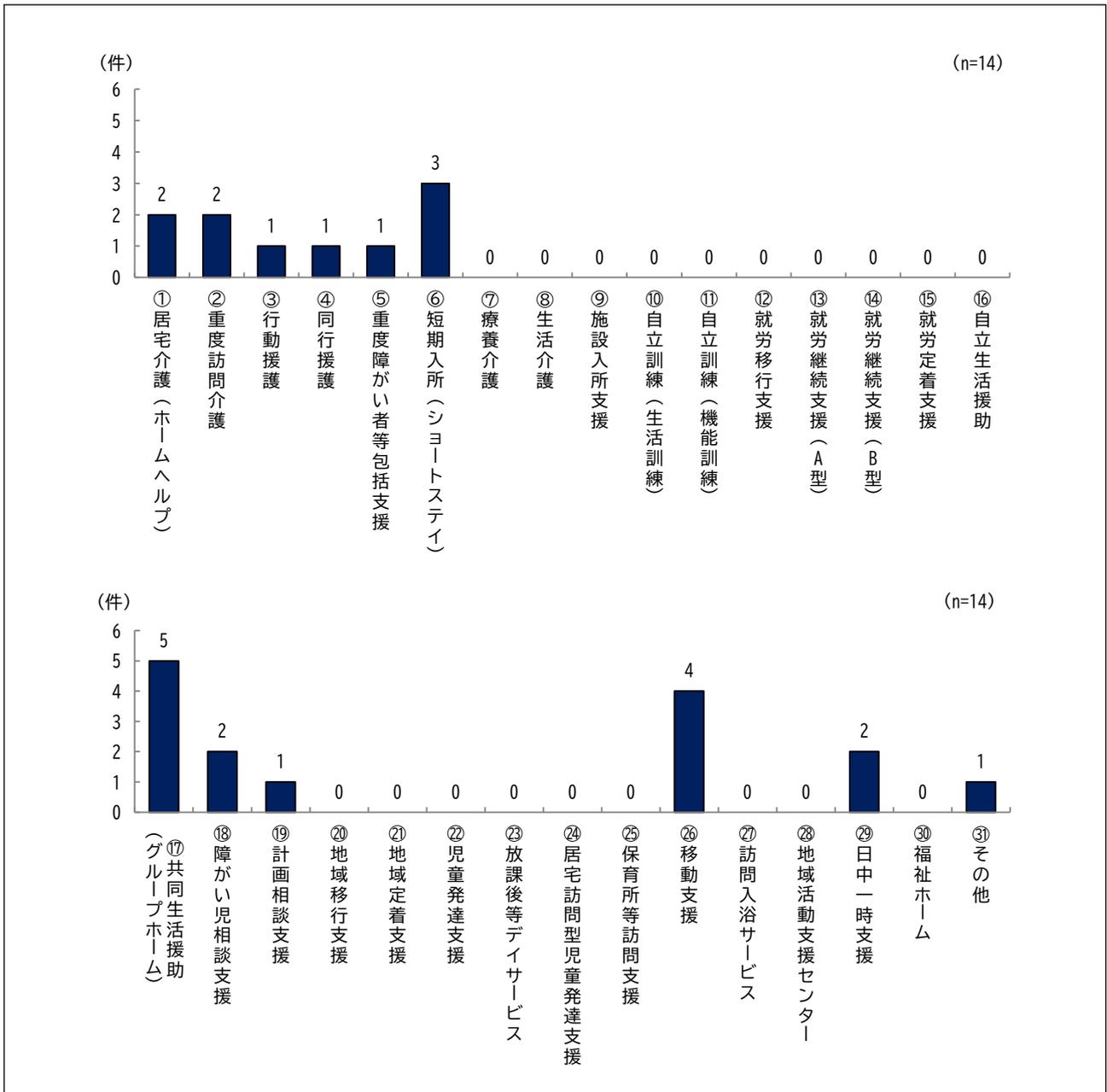


## ②望む声は多いが不足していると感じられるサービス

### 【全体の傾向】

利用者から望む声が多いが不足していると感じられるサービスは、「⑰共同生活援助（グループホーム）」（5件）が最も多く、次いで「⑳移動支援」（4件）、「⑥短期入所（ショートステイ）」（3件）と続いています。

図表 8 ②望む声は多いが不足していると感じられるサービス（全体／複数回答）



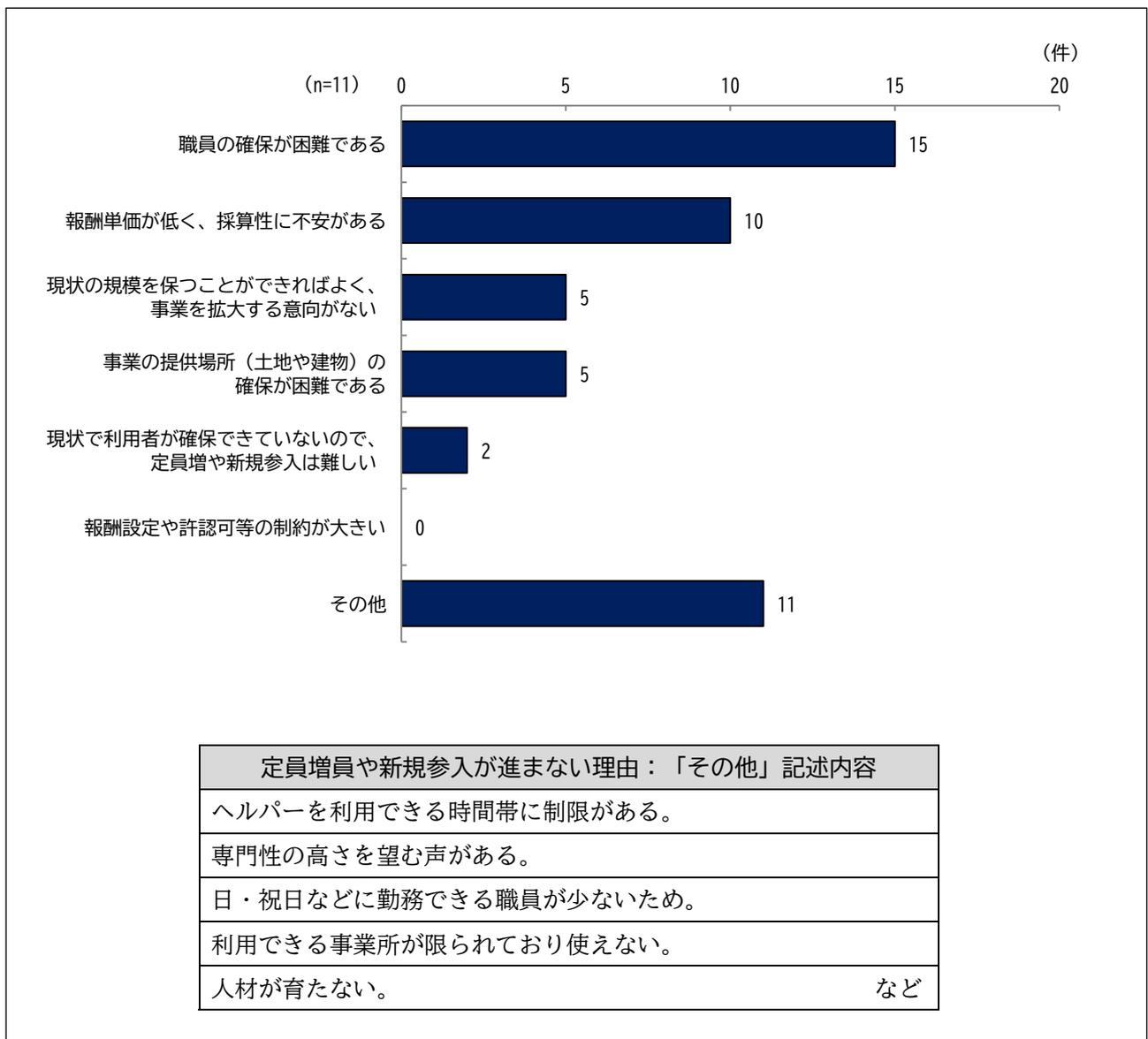
※問4で②に1つでも回答した項目がある方

問5 「利用者から望む声は多いが不足していると感じられるサービス」について、定員増員や新規参入が進まない理由は何だと思われますか。

【全体の傾向】

「利用者から望む声は多いが不足していると感じられるサービス」の定員増員や新規参入が進まない理由として、「職員の確保が困難である」(15件)が最も多くなっています。他は「報酬単価が低く、採算性に不安がある」が10件、「現状の規模を保つことができればよく、事業を拡大する意向がない」「事業の提供場所(土地や建物)の確保が困難である」がともに5件などとなっています。また、「その他」が11件と全体の第2位となっています。

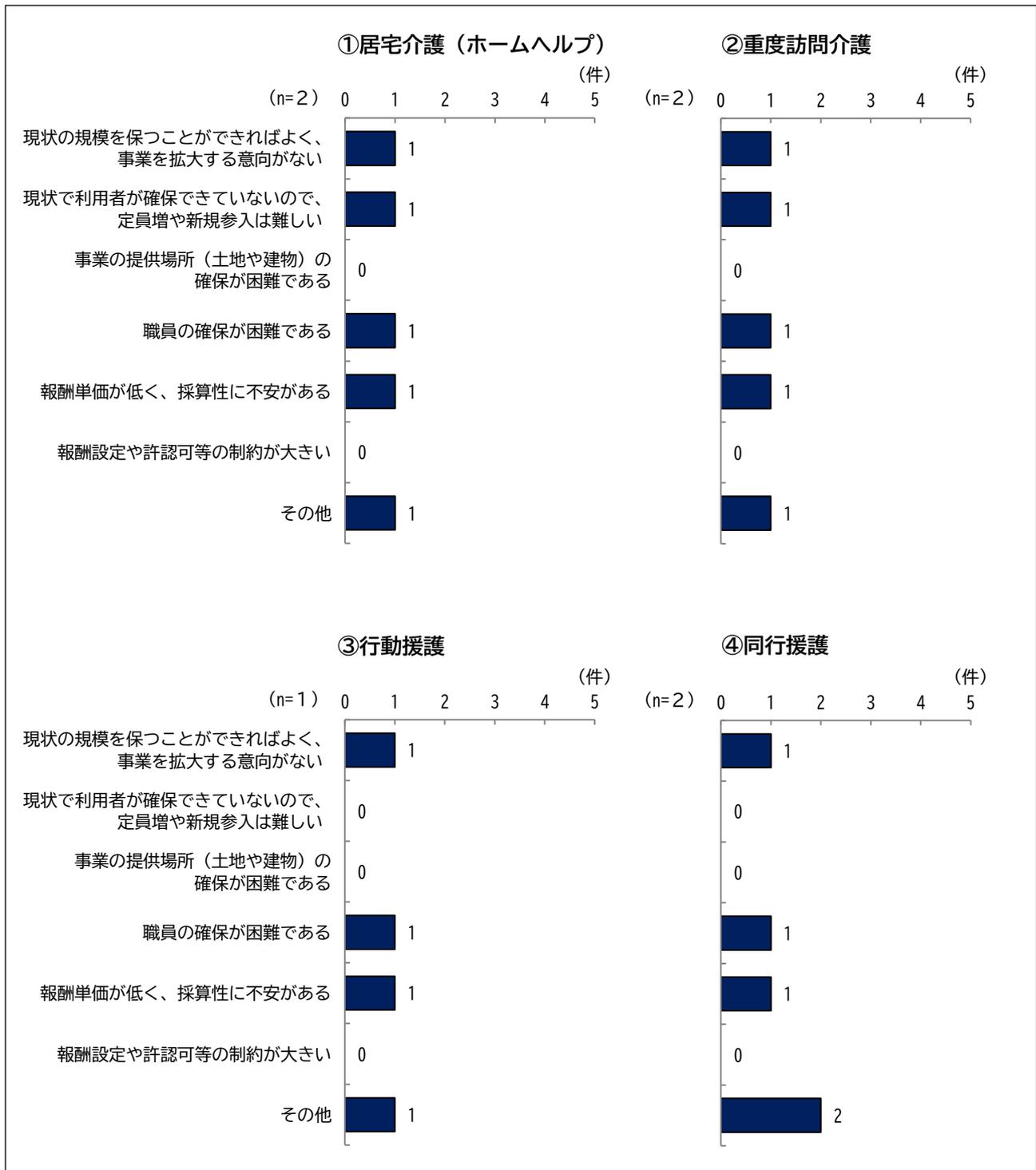
図表 9 定員増員や新規参入が進まない理由(全体/複数回答)



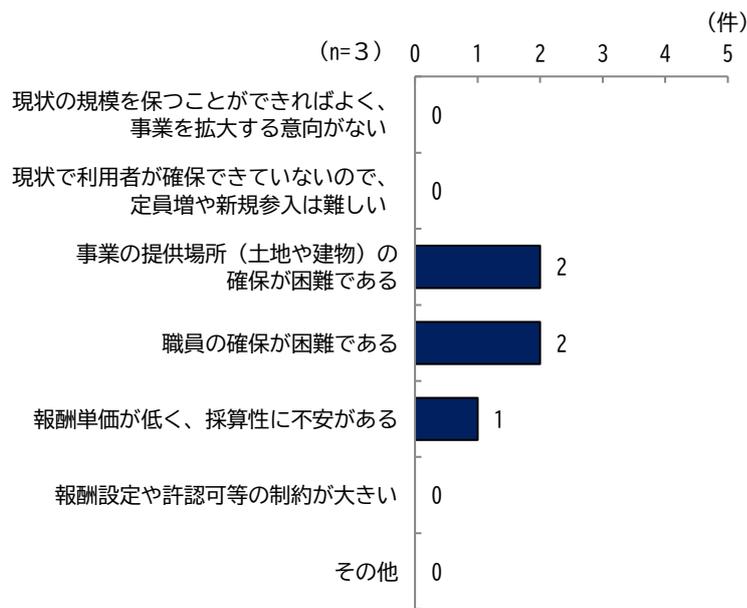
【サービス別の傾向】 ※回答のあったサービスのみの掲載

理由をサービス別にみると、11件のサービスのうち9件のサービスで「職員の確保が困難である」が理由として挙げられており、特に⑰共同生活援助（グループホーム）で多くなっています。

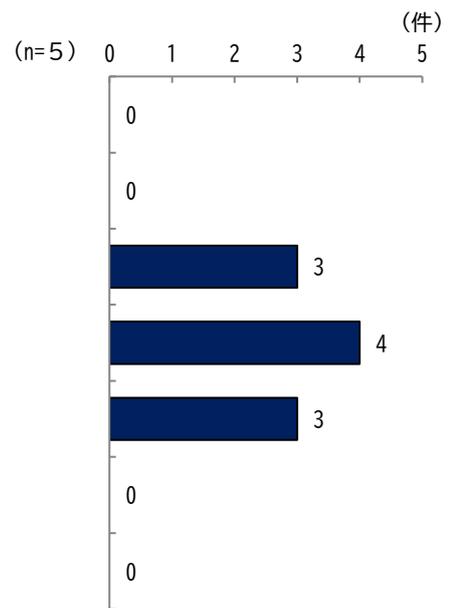
図表 10 定員増員や新規参入が進まない理由（サービス別／複数回答）



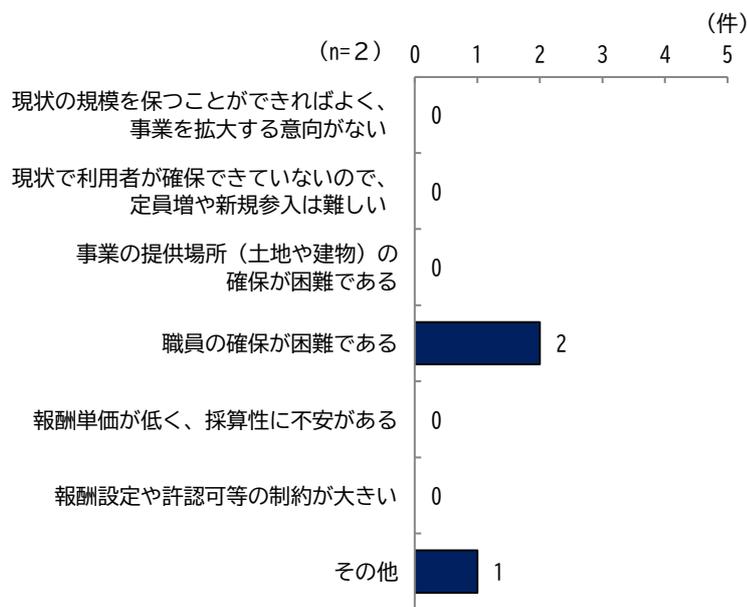
⑥短期入所（ショートステイ）



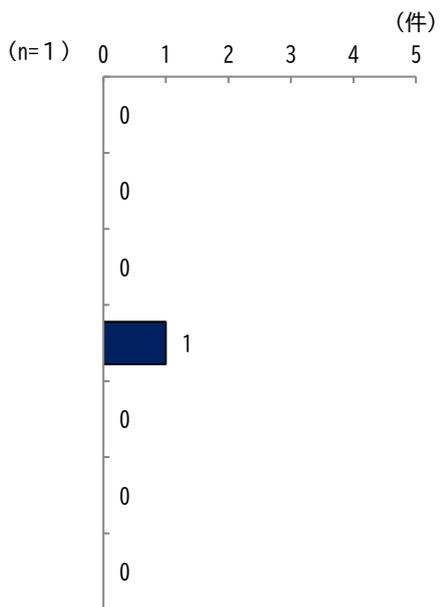
⑦共同生活援助（グループホーム）



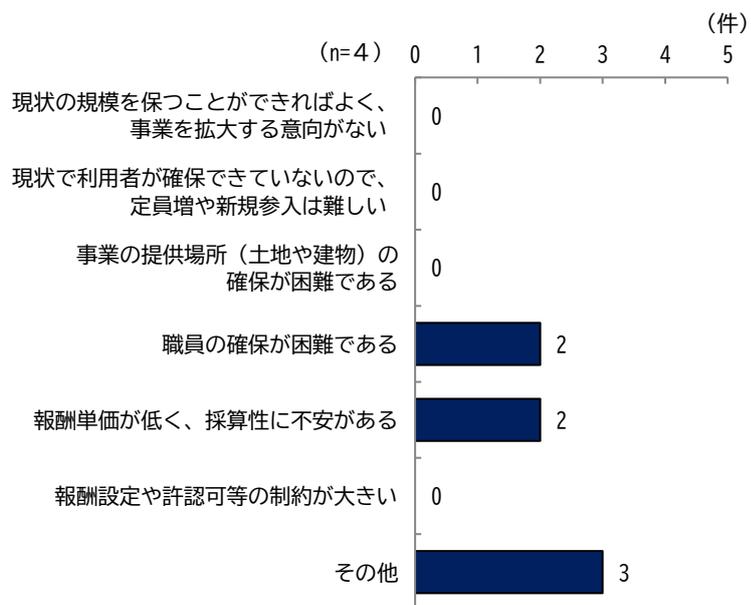
⑧障がい児相談支援



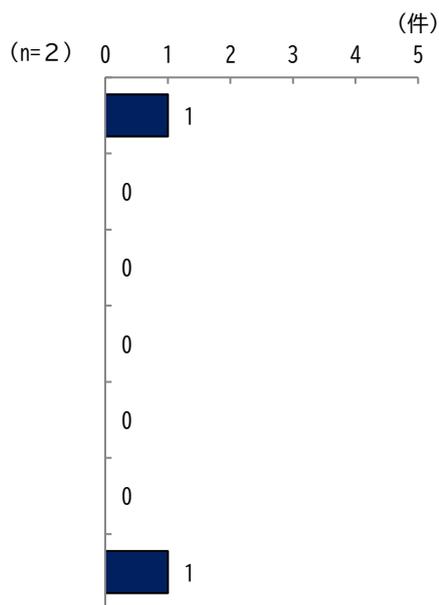
⑨計画相談支援



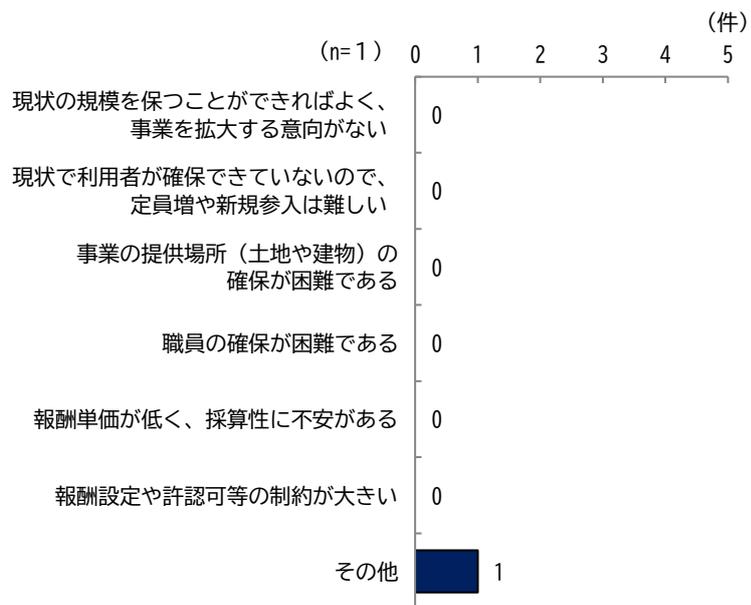
②⑥移動支援



②⑨日中一時支援



③①その他



## 4. 現在の職員の充足具合について

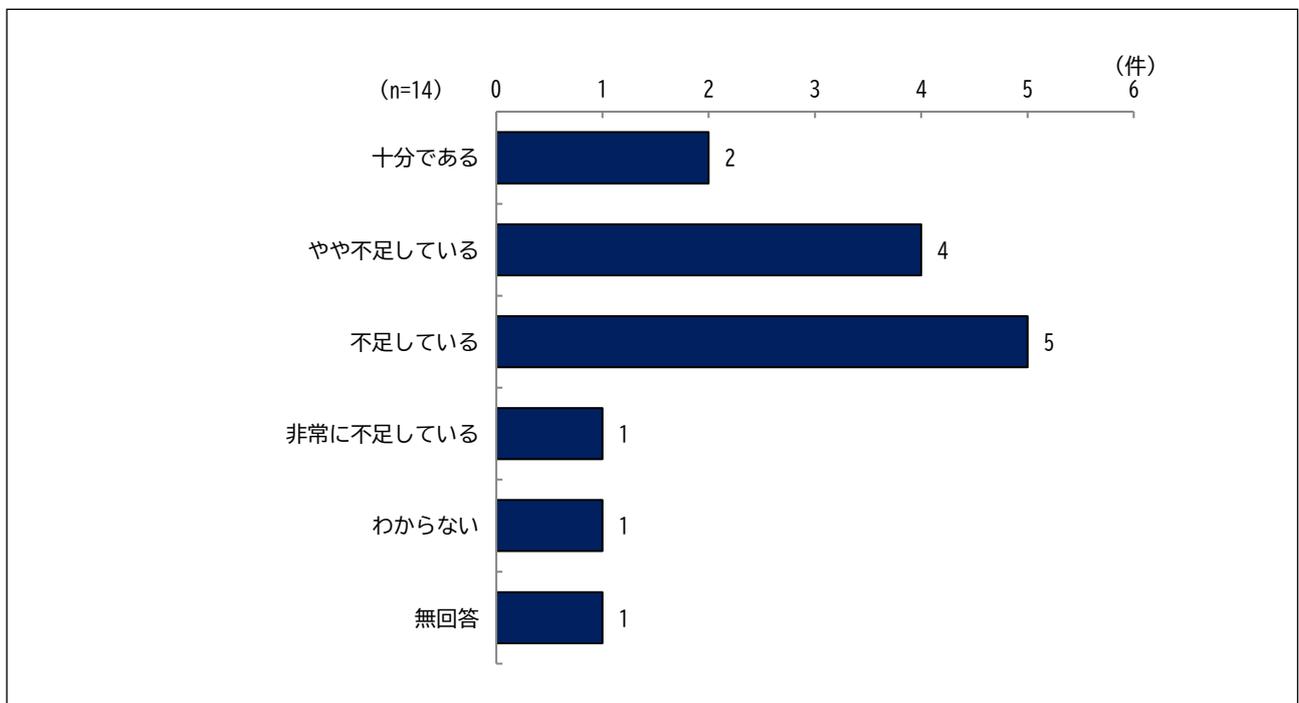
問6 貴法人では業務量に対する職員（人手）の充足具合はいかがですか。

### 【全体の傾向】

業務量に対する職員の充足具合をみると、「不足している」（5件）が最も多く、次いで「やや不足している」（4件）、「十分である」（2件）と続いています。

また、「やや不足している」「不足している」「非常に不足している」を合計すると10の事業所が現状、職員の不足を感じていることになります。

図表 11 職員の充足具合（全体）



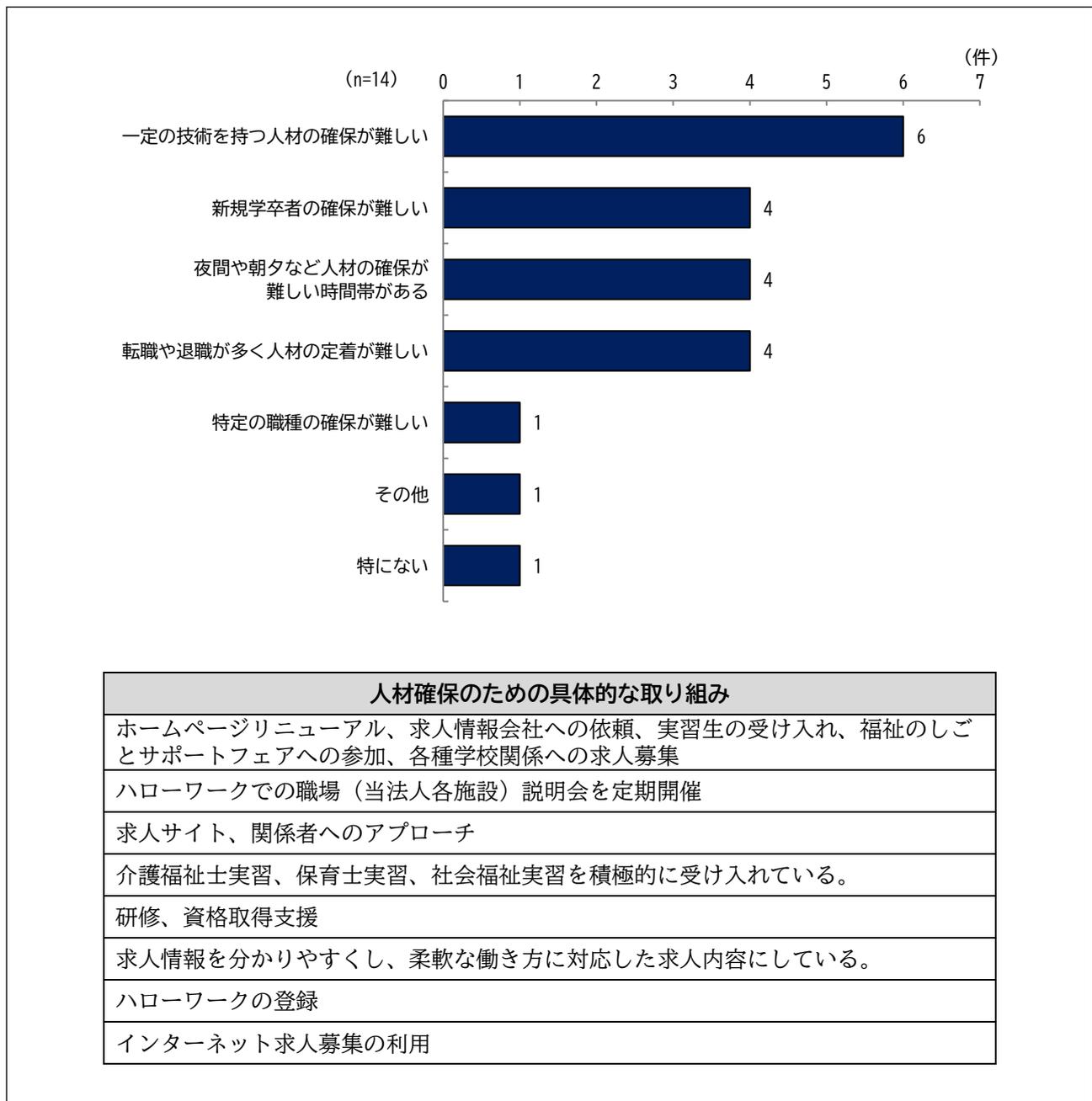
## 5. 人材の確保について

問7 人材確保にどのような課題がありますか。(〇は2つまで)

### 【全体の傾向】

人材確保の課題としては、「一定の技術を持つ人材の確保が難しい」(6件)が最も多く、次いで「新規学卒者の確保が難しい」、「夜間や朝夕など人材の確保が難しい時間帯がある」「転職や退職が多く人材の定着が難しい」(4件)、「特定の職種の確保が難しい」(1件)と続いています。

図表 12 人材確保の課題と取り組み (全体/複数回答)



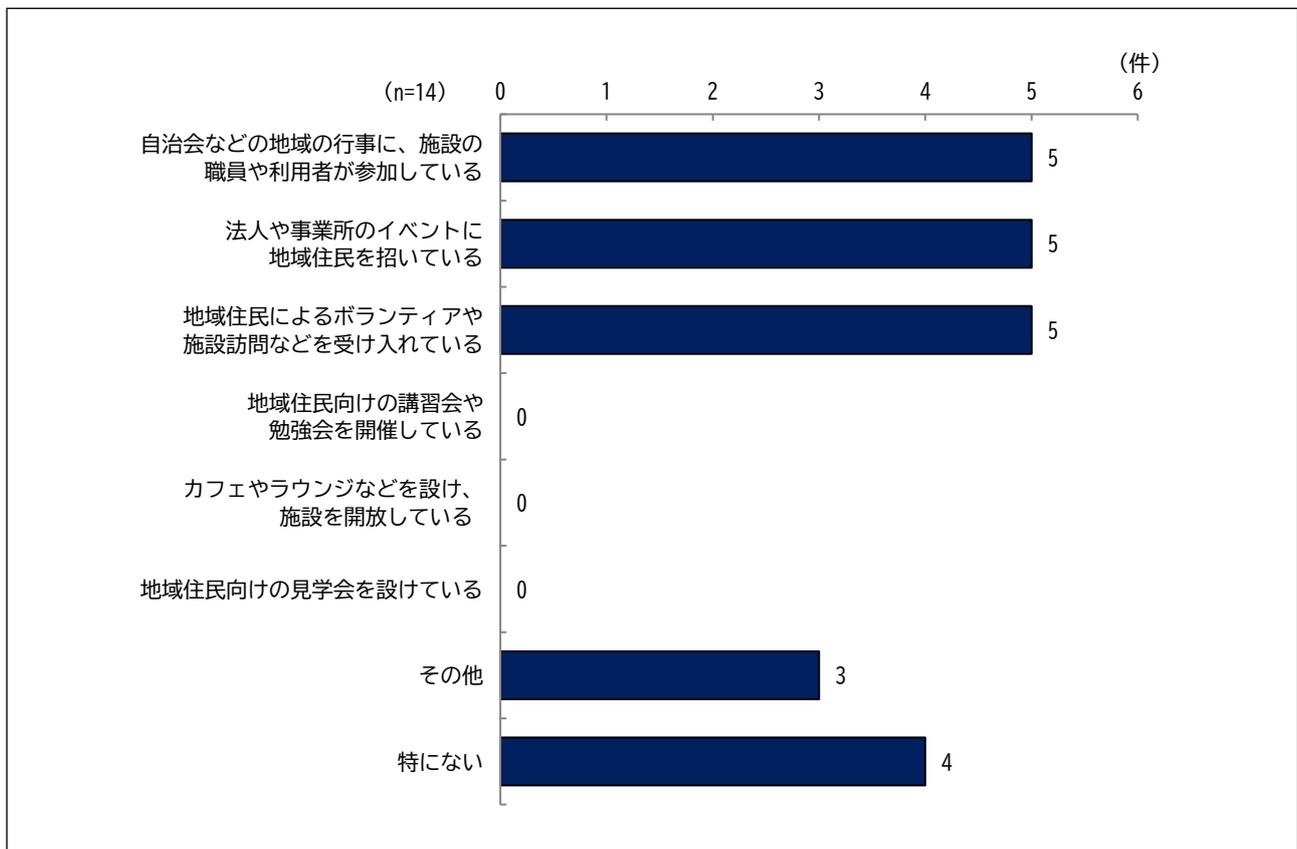
## 6. 地域住民との交流

問8 貴法人の職員や利用者が、地域の住民と交流する機会がありますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

地域住民との交流機会の有無については、「自治会などの地域の行事に、施設の職員や利用者が参加している」「法人や事業所のイベントに地域住民を招いている」「地域住民によるボランティアや施設訪問などを受け入れている」がいずれも5件となっています。また、「特にない」は4件となっています。

図表 13 地域住民との交流の機会について（全体／複数回答）



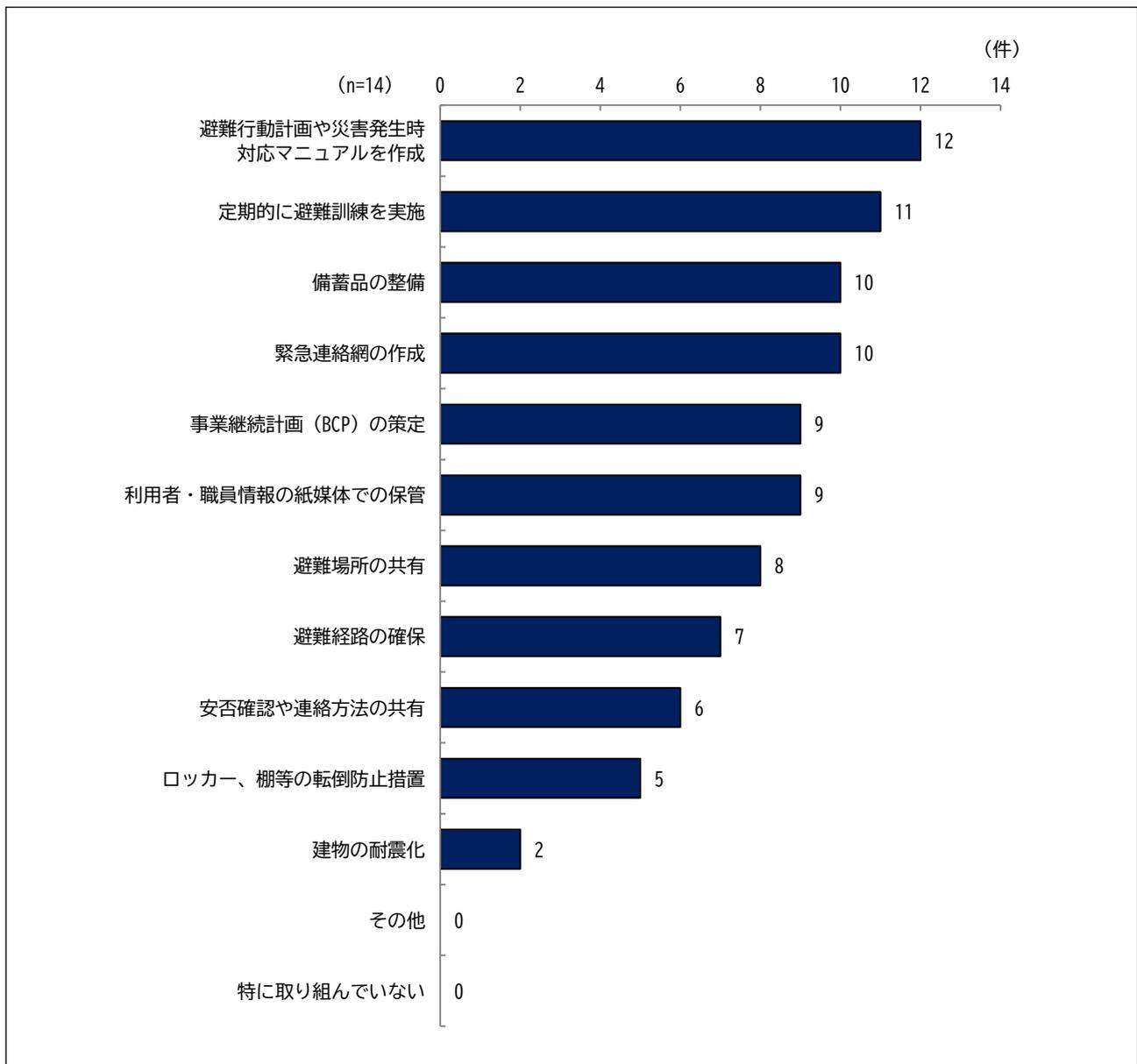
## 7. 災害時の対策・対応について

問9 災害時の対策についてどのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

災害対策の取り組みについてみると、「避難行動計画や災害発生時対応マニュアルを作成」(12件)が最も多く、次いで「定期的に避難訓練を実施」(11件)、「備蓄品の整備」および「緊急連絡網の作成」(10件)と続いています。

図表 14 どのような災害対策の取り組みをしているか (全体/複数回答)

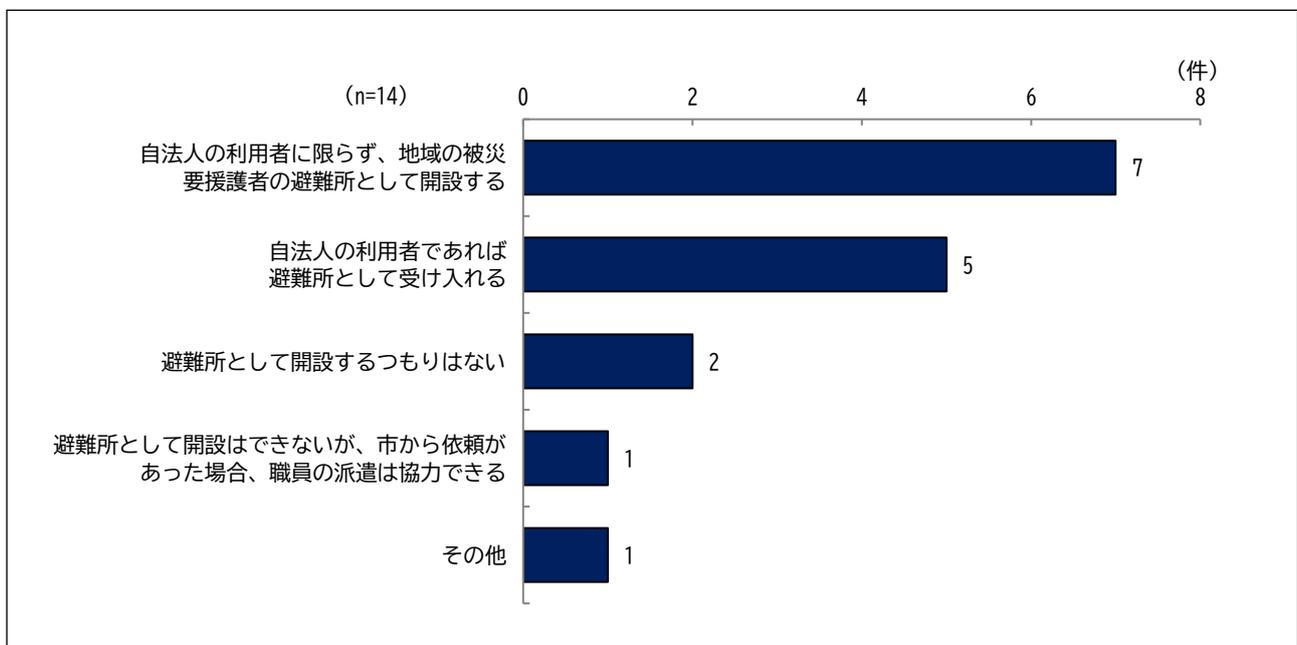


問 10 災害時に仮に事業所（建物・職員等）が無事であった場合、災害時に避難所での特別な援助を必要とする障がい者等（以下「被災要援護者」という。）の避難所として開設することはできますか。（あてはまるものすべてに○）

### 【全体の傾向】

災害時に避難所として開設が可能かどうかについては、「自法人の利用者に限らず、地域の被災要援護者の避難所として開設する」（7件）が最も多く、次いで「自法人の利用者であれば避難所として受け入れる」（5件）、「避難所として開設するつもりはない」（2件）、「避難所として開設はできないが、市から依頼があった場合、職員の派遣は協力できる」（1件）と続いています。

図表 15 災害時の避難所として開設が可能か（全体／複数回答）



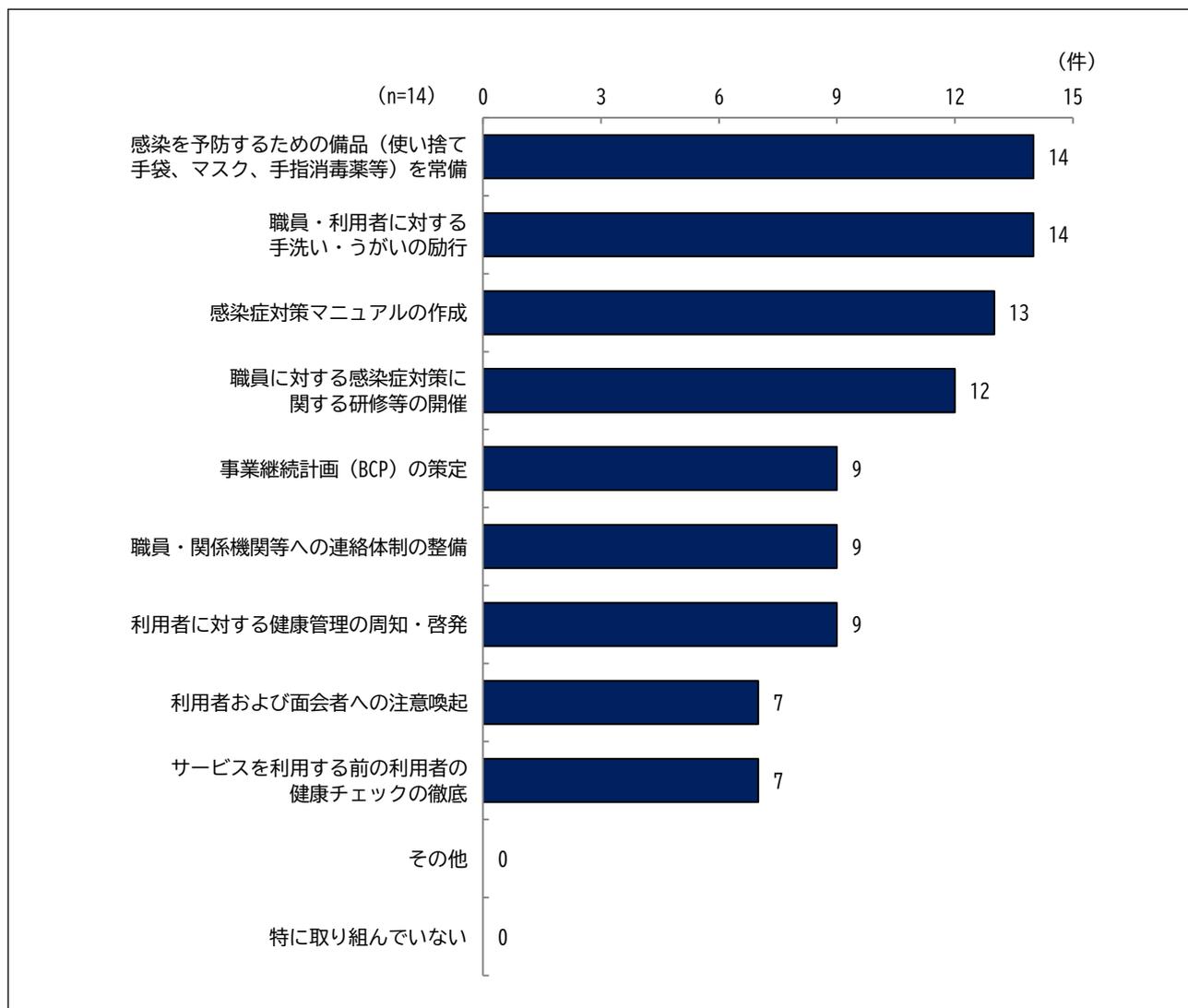
## 8. 感染症対策について

問 11 貴法人では、感染症対策についてどのような取り組みをしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

### 【全体の傾向】

感染症対策の取り組みについてみると、「感染を予防するための備品（使い捨て手袋、マスク、手指消毒薬等）を常備」および「職員・利用者に対する手洗い・うがいの励行」（14 件）が最も多く、次いで「感染症対策マニュアルの作成」（13 件）、「職員に対する感染症対策に関する研修等の開催」（12 件）と続いています。

図表 16 感染症対策について（全体／複数回答）



## 9. サービスの現状や課題

問 12 次の各サービスの分野における現状や問題点、課題、今後どのように取り組めばよいかについて、ご意見をご記入ください。

各種サービスの現状や問題点、課題、今後の取り組みについて以下のような意見が寄せられました。

### ①訪問系サービス

重度訪問介護は、長時間サービスになる場合が多いので、人員不足の状況ではサービス提供が難しい。
通院等乗降介助の利用で、条件付きでの同乗の許可。
常時介護を必要としない方でも、日常的に支援が必要である場合も多く、利用者のニーズに応じた支援を行うために障がいの状態等により技術内容に違いがあることを見直すなど。
人が足りない。人材が育たない。難しい支援が増加している。事業自体のリスクの増加を感じる。

### ②日中活動系サービス

事業所が増加しており、他の事業所と併用利用される方がかなり多くなっている。（週1回利用される方、月に1回利用される方など）日々、登録者数の半数程度の利用しかない状態で経営的にも苦しい状態。その日その日で利用者が違うので、送迎の組み合わせやご家族への連絡、利用者数が少ない場合でも通常通り配車が必要で職員が不足する場合はほとんどになっている。
内職工賃単価が低い。取引業者の新規開拓に断られるケースもあり、苦慮している。技術を高めて難しい作業にも挑戦してもらいたいが、失敗して企業に迷惑がかかる場合もあると思うと踏み込めない。
利用者さんの能力に合った作業を提供する中でも、少しでも高い工賃を循環していける効率の良い仕事を選択し、利用者本人の選択肢が広がる作業所を目指していきたいと思う。
物価や人件費の高騰により、軽費は上昇しているが、基本分の報酬単価が経費の上昇に対応されておらず、厳しい現状にある。

### ③居住系サービス

人員不足が続いており、利用者に提供すべきサービスを介護職員のみならず、全職員で対応している状態。
--

### ④障がい児通所支援

各学校の下校時間帯が同じであるため、送迎の手配がとりづらい。
障がい程度に応じた受給日数になっているか。
医療的ケア児の基準がわかりにくい。看護師不足。職員の入れ替わりが激しく、育たない。
保育スペースが限られているため、放課後等デイサービスと児童発達支援が同じ時間帯で過ごすことが困難である。年齢差が大きいので活動が違うので、いかにして交互にスペースを活用していくかが問題である。（子どもたちにより良い居場所の確保）

※⑤地域生活支援全般および⑥就労支援全般についての意見はありませんでした。

## 10. 障がい福祉施策における重点課題について

問 13 坂出市が障がい福祉施策の展開を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題について、ご意見をご記入ください。

坂出市が障がい福祉施策を進めるうえで、特に重点的に取り組むべき課題について以下のような意見が寄せられました。

相談支援の拡充。
障がい者雇用可能な企業情報が分かりづらい。インボイス制度に伴い、免税事業者に不利益にならない配慮がほしい。
利用者の高齢化に伴い、今後介護保険と併用される方が増加することが予想されるので、双方のサービスを一元管理できる体制の構築。
障がいのある子ども（学生）に対する教育から雇用への意向を見据えた就労支援を雇用・福祉・教育の連携のもと、取り組む必要性あり。

## 11. その他・自由意見

問 14 坂出市の計画策定にあたり、その他、ご意見がありましたらご記入ください。

自由意見
各事業の数値目標の設定。（具体的に）
前向きに多様性を認められる社会であってほしい。関り、互いに楽しめる個々の考えと環境。
中小の事業所にとっては、送迎のことが課題。ドアtoドアがほんとうにベストかどうか分からないが、今の事業所にとって、送迎のニーズにいかに応えていくかが課題。長い時間送迎車に乗っているという状況はさげたい。市が送迎を担ってくれる、あるいは複数の事業所をつないで送迎を行うための調整を行政が担っていただけるとありがたい。
障がい児で身体を動かすのが好きな子が多いが、地域の運動教室では十分にコーチの話が聞けず注意されやる気をなくす子が多い。特性を考慮し教えてくれる運動教室を望まれる保護者は多い。音楽鑑賞、演劇鑑賞等が好きだった保護者も、障がい児がいるということで行けなくなった方もいると思う。3時間程度、不定期で預かってもらえるところがあると親の気分転換にもなり、子にも優しく接することが出来るのではないか。
建物が老朽化し、家賃でお借りしているものだが大きな地震に耐えられるかどうか不安がある。公費で修繕していただけたら助成をしていただくことは可能か。また、短期入所受入れの要望なども多いので、施設の建て替えなどの助成、協力をお願いしたい。